

日本テスト学会第 14 回大会開催のご案内

<http://www.ai.is.uec.ac.jp/jart2016/>

e テスティングが切り拓く新しい評価

本大会の開催にあたり、大会実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。

日本テスト学会第 14 回大会を電気通信大学で開催することとなり、大変光栄であるとともに、その責任の重さを感じております。2018 年に創立 100 周年を迎える電気通信大学は、科学技術イノベーションを先導し知識基盤社会を支える高度人材の育成・輩出を最重要使命とした先端技術の特徴とした大学で、e テスティングや e ラーニングなど情報通信技術を用いた教育技術の研究も多く行ってきています。そのような意味でも、本大学で日本テスト学会大会を開催できますことを本当に誇らしく思っておりますし、これを機に本学でもテスト分野への興味が高まってくれればと思います。

近年、大学入試改革や資格試験への e テスティングの導入など興味あるテーマの多いテスト学会で、小さい学会ですがまさに時代を動かす役目にある学会であるといえましょう。

このような状況を鑑み、本大会のテーマは「e テスティングが切り拓く新しい評価」としております。e テスティングの特徴は、一回のテストの推定精度を高めるだけでなく、何度異なるテストを受けても同一尺度上で等質の精度高い評価が保証されることにあります。この性質を満たすテストを「等質テスト」と呼びますが、等質テストを自動構成する技術は、資格試験や入学試験のようなハイスタークテストであっても、試験の複数回（随時）実施や同一受検者に対して高精度な判定を与えることができる革新的な技術といえます。

しかしながら、等質テストを構成するためにはテスト項目の様々な組み合わせを評価する必要があり、この組み合わせ数は、重複などを含めると指数的に増加し、まっとうには計算できない数に膨れ上がります。一方で、このような計算を実行する技術はビッグデータ分野において急速に発達してきており、e テスティングがコンピュータサイエンスの最先端技術を駆使する必要がある競争力のある技術であることがわかります。本大会では、e テスティングに関連する我が国の最先端の研究と実践を共有し、今後の課題を吟味することを狙いとします。また、e ポートフォリオで受検者のテスト履歴を管理することも可能になってきており、このような新技術についても企画していきたいと考えています。

もちろん発表を e テスティングのみに限定することはなく、これまでと同様に、テストに関する理論・実践両面における様々な研究発表が行われます。

大会実行委員会の各メンバーが、皆様が不便なく参加できるように会場準備等を行ってきてくれました。本大会の開催のために、ご尽力くださいました多くの関係者の方々に心より感謝申し上げます。

皆様にとって有意義な大会になりますことを祈願し、挨拶とさせていただきます。

日本テスト学会第 14 回大会実行委員長
電気通信大学大学院情報システム学研究所
植野真臣

1. 開催期日と会場

期日：2016年9月8日（木）・9日（金）

会場：電気通信大学 東地区 B, C, 新C棟 （〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1）

2. 内容

2.1. 基調講演、シンポジウム、企画セッション

下記5つの基調講演・シンポジウム・企画セッションの開催を予定しております。

(1) 基調講演：「認知科学を基礎とした新たなアセスメント研究動向」

講演者：ETS 首席研究員 Paul Deane 博士

(2) 公開シンポジウム1「e テスティング」

話題提供者：植野 真臣 先生、他

(3) シンポジウム2「入試改革」

話題提供者：吉川 厚 先生、他

(4) 企画セッション1「21世紀スキル」

話題提供者：益川 弘如 先生、他

(5) 企画セッション2「e ポートフォリオ」

話題提供者：森本 康彦 先生、他

2.2. 一般研究発表

<発表形式>

- ・発表は口頭発表によります。発表時間は、原則として質疑応答5分間を含む20分間の予定です。
- ・発表のための資料として、抄録集以外に補足資料を利用される場合は、配布用プリント約50部を用意してください。
- ・発表会場には液晶プロジェクタを用意しておきます。その他の発表用機器の使用を希望される場合は、抄録原稿送付時に第14回大会事務局までご相談ください。

<発表要件>

- ・「発表者のうち少なくとも1名は本学会会員であること」「発表論文抄録集への論文を掲載すること」「口頭発表を行うこと」という3つの条件をすべて満たすことによって、公式発表として認められます。

2.3. 懇親会

- ・大会初日（9月8日（木））の夜、懇親会を電気通信大学東地区のレストランで行います。

2.4. その他

- ・企画の詳細につきましては、準備が出来次第、大会ホームページにアップします。

3. 大会参加申込み、および、一般研究発表の申込み

3.1. 申込み手続き

大会参加、および、一般研究発表の申込みは、それぞれの期日（次頁参照）までに、大会ホームページ <http://www.ai.is.uec.ac.jp/jart2016/>からお申込みください。

注) システム上で入力できない方は、大会事務局まで E メールで必要事項をご記入の上、お申し込みください。E メールにて大会参加、および、一般研究発表を申し込まれた方には、受付後 2 週間以内に、確認のメールをお送りします。受付後 2 週間以上経過しても確認の連絡が届かない場合は、第 14 回大会事務局までお問い合わせください。なお、一般研究発表については、発表題目および要旨に基づいて審査を行い、本大会の趣旨に沿わないと判断される場合はその旨ご連絡致します。

3.2. 申込み等期限

一般研究発表の申込み期限	: 2016 年 6 月 24 日 (金)
一般研究発表の発表論文抄録集原稿送付期限	: 2016 年 7 月 15 日 (金)
大会参加の事前申込み・諸費用事前払込期限	: 2016 年 8 月 15 日 (月)

3.3. 諸費用の払込み

大会参加費、および、懇親会参加費の事前払込みは、期限までに大会参加の事前申込みを済ませた上で、**2016 年 8 月 15 日 (月)**までにお手続きください。ゆうちょ銀行・郵便局から送金する場合は本案内に同封した払込取扱票あるいは郵便局備え付けの払込取扱票、他の金融機関から振り込まれる場合は金融機関備え付けの振込用紙を用いて、以下の口座にご送金ください。いずれの場合も、手数料は依頼人負担となりますのでご了承ください。

ゆうちょ銀行・郵便局から

口座番号： 00100-1-450908

口座名称： 日本テスト学会第 14 回大会実行委員会

他の金融機関から

店名 (店番)： ○一九 (ゼロイチキュウ) 店 (019)

種目・口座番号： 当座 0450908

口座名義： 日本テスト学会第 14 回大会実行委員会

	大会参加費				懇親会 参加費
	正会員	法人会員	準会員・ 学生	非会員 (学生除く)	
事前払込み (8/15 まで)	5,000 円	5,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
当日支払い (会場にて)	6,000 円	6,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円

<払込みに関するお願いと注意>

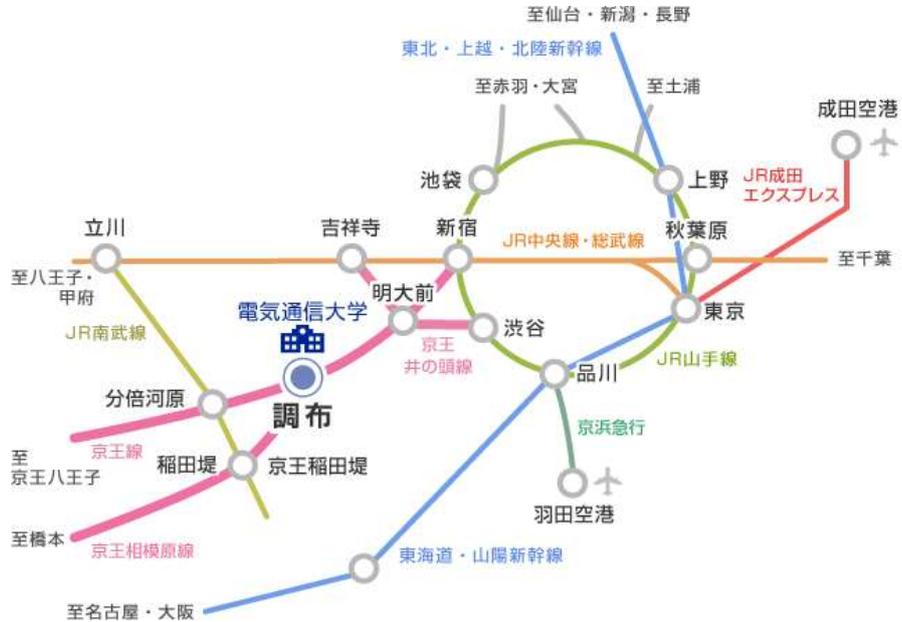
- ・大会参加申込については、振込前に HP 上からお申し込みください(3.1 申し込み手続きを参照)。
- ・必ず参加登録者名で払い込んでください(所属機関等からの振り込みの際は、特にご注意ください)。
- ・振り込み用紙でお支払いの場合、払込み金額の内訳を明記してください。
- ・利用明細は領収書の代わりとして必ず保管してください。
- ・参加の事前申込みをされても、期限までに事前払込みを完了されない場合は当日支払いの適用になりますのでご注意ください。

4. 会場アクセス

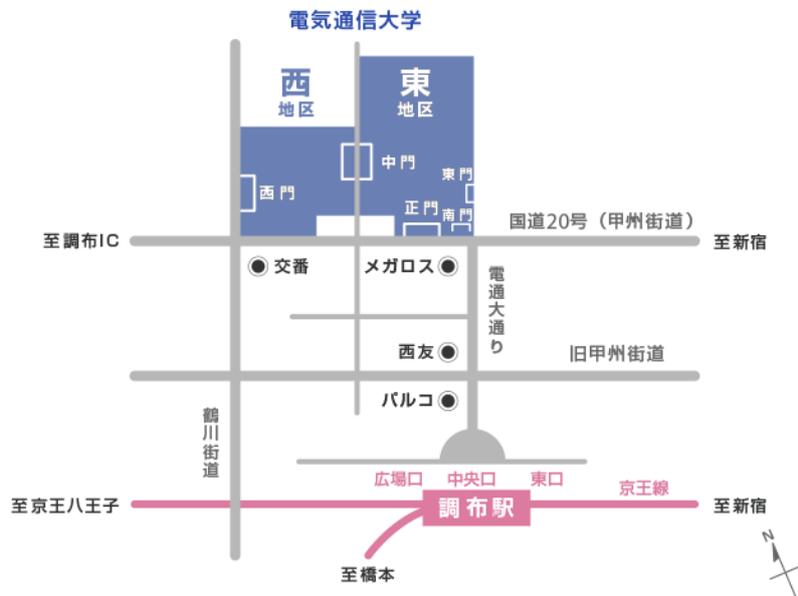
・アクセスの詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>

路線図



周辺地図



- ・最寄り駅は、京王線 調布駅です（新宿駅より特急で16分）。会場までは中央口より徒歩5分です。
- ・駐車場はご用意できませんので、車での来場はご遠慮ください。
- ・宿泊される方は各自でご用意ください。
- ・大会会場にはクロークをご用意いたします。
- ・大会中、会場におきましては無線 LAN が使用可能となります。

5. 抄録原稿の作成・送付

- ・抄録原稿の作成にあたっては、「抄録作成要領」、あるいは、ホームページを必ずご参照ください (<http://www.ai.is.uec.ac.jp/jart2016/>)。
- ・抄録原稿は、ホームページ上のフォームから、参加申込と同時にお送りください。ホームページ上のフォームから送信できない場合は、メールまたは郵便にて、第14回大会事務局宛にお送りください。
- ・原稿送付期限（**2016年7月15日（金） 必着**）を厳守してください。

6. 大会プログラム・論文抄録集

- ・大会プログラムは、8月上旬に大会ホームページにてお知らせする予定です。
- ・論文抄録集は、大会参加者には当日会場受付にてお渡し致します。

7. 第14回大会事務局連絡先

日本テスト学会第14回大会事務局

住所：〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学大学院 情報システム学研究科

社会知能情報学専攻知識創産システム学講座 植野研究室 内

E-mail : jart2016@ai.is.uec.ac.jp

抄録作成要領

原稿提出期限

2016年7月15日（金）必着

抄録原稿はそのまま縮小してオフセット印刷し、論文抄録集に掲載されます。以下の要領に従って原稿を作成されるようお願い致します。原稿は、大会 HP の発表申し込みフォームを通じて、発表申込み後に提出してください。なお、原稿に不備がある場合は、後日お問い合わせすることがございます。

抄録原稿

(1)発表1題につき2頁（本文約2,800字）としますが、さらに2頁に限り超過を認めます。超過の場合は4頁になるように（余白頁を生じないように）してください。

(2)A4判用紙を用い、上下に各3cm、左右に各2.5cmの余白を設けてください。

(3)レイアウトは以下のようにしてください。発表題目以外は10-12ポイントの文字サイズとします。

(ア)1ページ目

- ・1行目：発表題目。大きめの文字サイズ（16ポイント程度）で中央に書く。
- ・2行目：空行。
- ・3-4行目：発表者の氏名、所属。

口頭発表者の氏名の先頭に○印をつける。所属が大学の場合は、学部名（大学院の場合は研究科名）まで書く。連名発表者で所属が異なる場合は、*や**などの記号で対応を明確にする。2行で書ききれないときは、5行目以降を適宜繰り下げる。

- ・5-6行目：空行。
- ・7行目以降：本文。

(イ)2ページ目以降：1行目より本文を書く。

(ウ)原稿末尾に連絡先（E-mail アドレス、会員番号）を記入することができる。

大会 HP の発表申し込みフォームによる抄録原稿の送付方法・注意事項

(1)原則として、PDF形式(.pdf)原稿を、大会 HP の発表申し込みフォームを通じて送信してください。

Microsoft Word 文書 (.doc, .docx) も受け付けますが、印刷がずれる可能性があることをご承知おきください。

(2)TeX 文書は、Adobe Acrobat や dvipdfm などのソフトウェアで PDF 形式に変換して提出してください。

(3)図表はあらかじめ電子的に貼り付け、別途作業の必要がないようにしてください。

(4)原稿にページ番号は記入しないでください。

(5)特殊文字(外字など)が使用されている場合、印字されないことがあるので、使用しないでください。

(6)本文および図表は白黒印刷されます。

(7)送付先：下記の大会 HP の発表申し込みフォームにて、発表申込みを期日までに済まされた後、お送りください。

<http://www.ai.is.uec.ac.jp/jart2016/>